

まちづくりの活性化に 女性の力をどういかすのか

坂田 容子 議員

いと思っている。女性自身のエンパワーメント、人材発掘、人材を育成して地域への広がりを図っていかれたらと思っている。

女性副市長の 登用はどうなっ ているか

問 女性副市長の登用が23年からのほうですか。

市長 女性副市長登用問題は22年度一年間かけ機構改革、組織機構の見直しをやり、その上で部長制を廃止し、23年4月から副市長を二人制にし、そのうち一人を女性に思い描いている。

身近な環境問題 として

問 環境問題は世界全体の

問題だが、私たちの身近な問題でもある。ごみ袋の料金引き上げによって得られた収入増分の利用成果はどうか。

かんきょう課長 収入増分の

具体的な使い道では、生ごみ処理容器等の補助で容器利用が増加。生ごみ処理器を3小学校と1中学校に設置、調理ごみや残渣等の減量や資源化ができています。選定枝をチップ化して資源化することもできた。

また、ごみ減量の教育としてワークブックを策定し、21年度から小学4年生が社会科の授業で使っている。

温泉入浴施設に対するアンケートを 実施するのか

矢加部 茂晴 議員



筑後広域公園

新幹線新駅整備 事後評価への 対応は

問 九州新幹線筑後船小屋駅の整備について、本来であれば市の持ち出しが24億円のところを、都市再生整備計画をつくり「まちづくり交付金」の活用で20億円以下に抑えている。この交付金の制度では事後評価が求められているが。

建設経済部長 都市再生整

備計画の中で目標として、在来線船小屋駅の乗降客数、県営筑後広域公園の利用者数、船小屋温泉郷の集客数の3つを掲げており、事後評価を行い、国に報告し、市民に対して公表する形になっている。特に船小屋温泉の集客数について頑張らなければならぬと思っており、温泉入浴施設等をつくりながら集客数を増やしたいと考えている。

問 地域主権の住みやすく、活力あるまちづくりのためには、女性の持つ生活者の視点や感性を市政に反映させることも必要である。どのように取り組み、実現していくのか。

地域支援課長 現在進めて

いる校区コミュニティ構想の中で女性の参画というのを進めていきたい。具体的には、多くの団体を組織化することで女性の参画、若年層の参加が進むと考える。

男女共同参画推進室参事

活力ある地域づくりのためには男女共同参画は欠かせな



小学校に設置されている生ごみ処理器

問 筑後広域公園内の温泉入浴施設は、いつの時点でアンケートを実施するのか。

市長 9月議会で議論した総事業費5億円の範囲内で進めており、改めて温泉施設に関するアンケートを実施する予定はない。今後基本計画を進める中で、事業の概要など市民に情報を提供していきたい。

問 事業費の半分は市民が負担するわけであり、例えば抽出方式でアンケートをとるべきではないか。

市長 就任時の記者会見でアンケートについて質問があり、総事業費5億円、市の持ち出し2分の1で2億5,000万円が頭にあり、それを超える場合にはとることも考えたと答えたところだ。今計画が煮詰まっております。総事業費も5億円以下でおさまる見込みで、今の時点でアンケートをとることは考えていない。